

第26回株主総会 事業戦略説明会

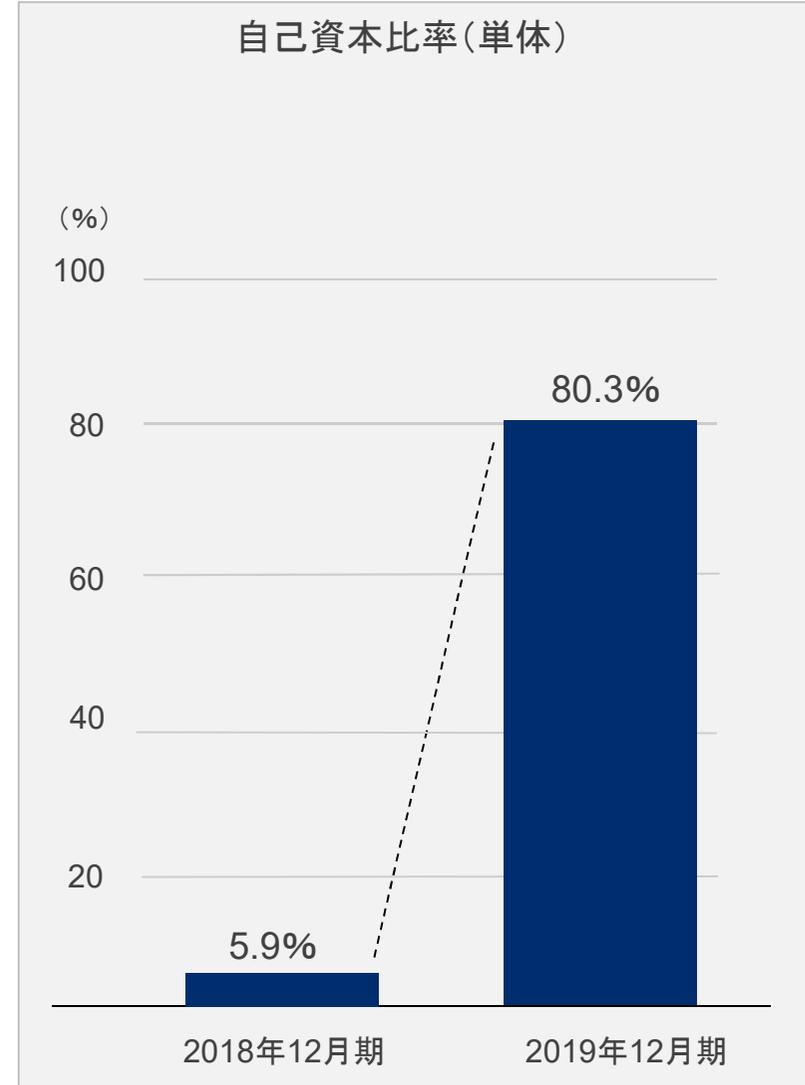
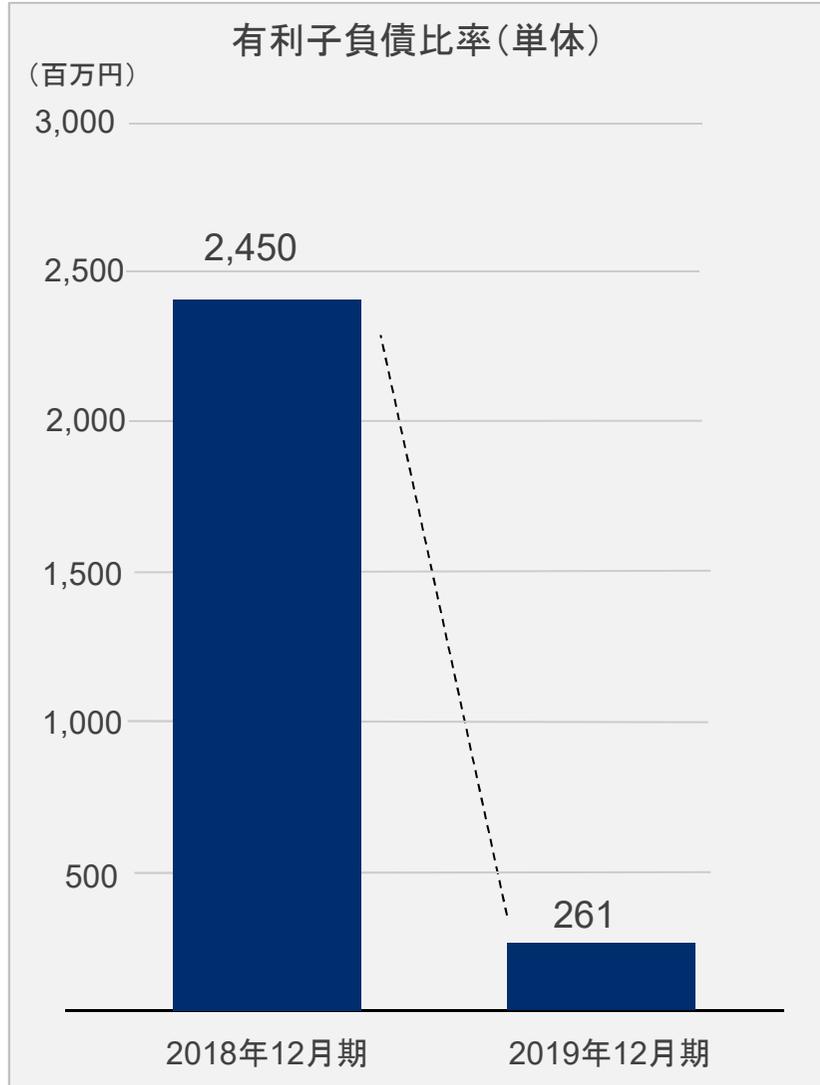
2020年3月30日

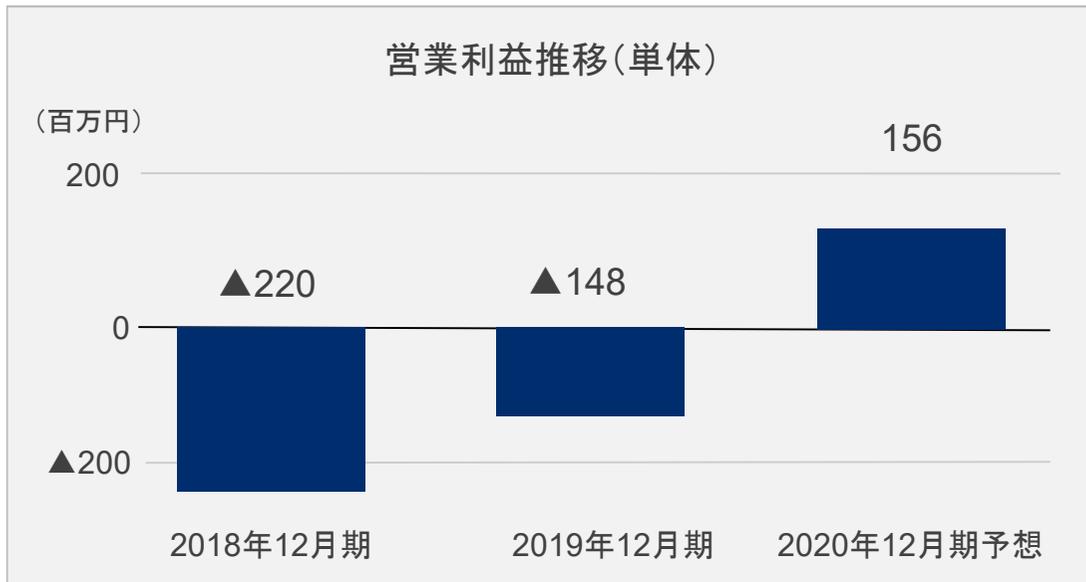
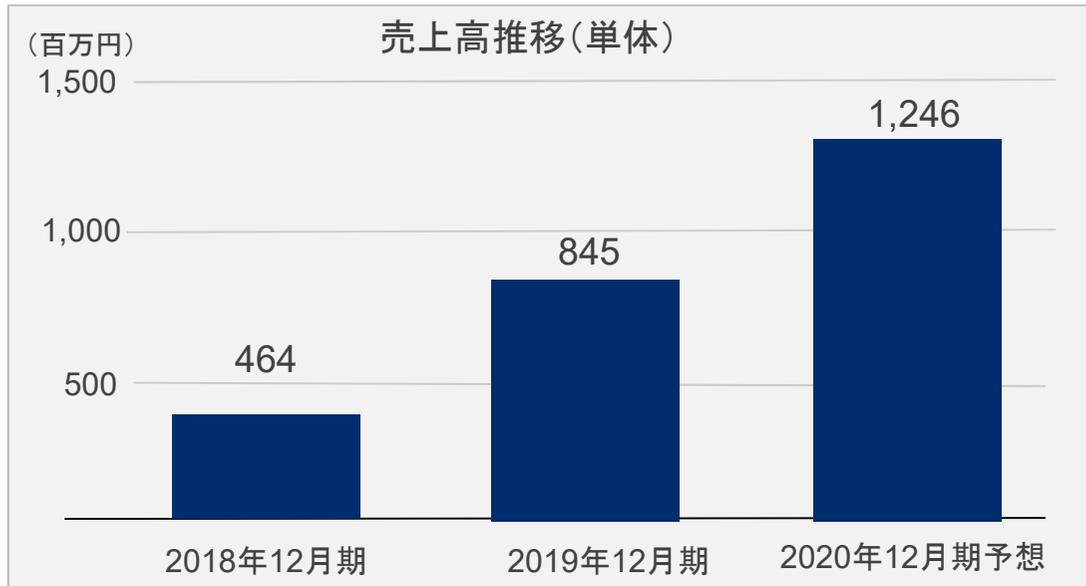


Copyright(c) 2012 by FISCO Ltd.

No part of this publication may be reproduced, stored in retrieval system, or transmitted in any means --- electronic, mechanical, photocopying, recording and otherwise --- without permission of FISCO Ltd.
This document provides an outline of a presentation and is incomplete without accompanying oral commentary and discussion.

フィスコにおける子会社の吸収合併、CB買入消却による有利子負債の大幅な圧縮および債務の株式化(DES)によって自己資本比率が大幅に改善した。前期には1株あたり0.5円の復配を果たし、今期は同3.0円の配当を実施する予定。





■売上高

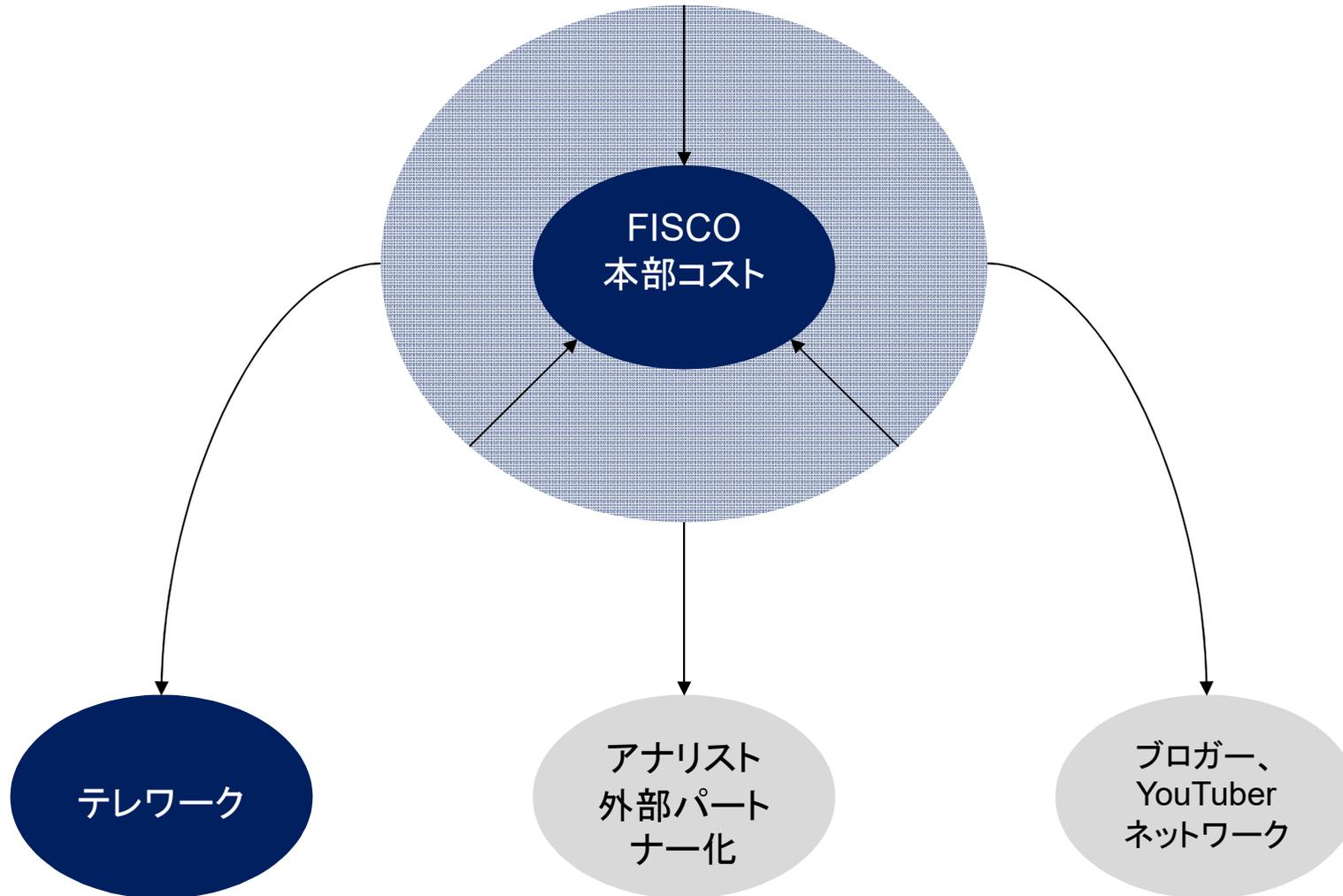
2019年7月の子会社吸収合併により既存事業で約430M売上増加。2020年12月期は、企業IR支援サービスおよび広告代理業が通年で売上寄与するほか、既存事業に加え、投資教育、機関投資家、暗号資産(仮想通貨)をキーワードに新規サービスを展開し、売上増を図る。

■営業利益

当社単体2019年12月期で72百万円の改善。2020年12月期は、売上増加に加え合理化による費用削減効果(※)により、黒字回復を見込む。

※デジタル時代に適した組織(テレワーク、アナリストの外部パートナー化)を推進しやすい業態であり、マーケットの上げ下げに収益が左右されにくい体質も構築しやすい。過去のリーマン・ショック時における法人向けの収益減は限定的であったが、オフィス常駐人員は90%削減、従業員の満足度を高めながら、通年換算で約40Mのコスト削減も実施へ。

テレワークによる社員満足度を高めながらのオフィスの軽量化、ブロガーやYouTuberも含めたアナリスト外部パートナー化による執筆コストの外部化、および外部パートナーのコンテンツ拡散によるプロモーションコストの低減を図るなど、デジタル時代に適した組織への転換を推進します。



1. 事業計画数値目標

単位:百万円

	2020年12月期
売上高合計	1,246
情報サービス事業	1,138
広告代理業	108
仮想通貨・ブロックチェーン事業 ※	—
営業利益	156

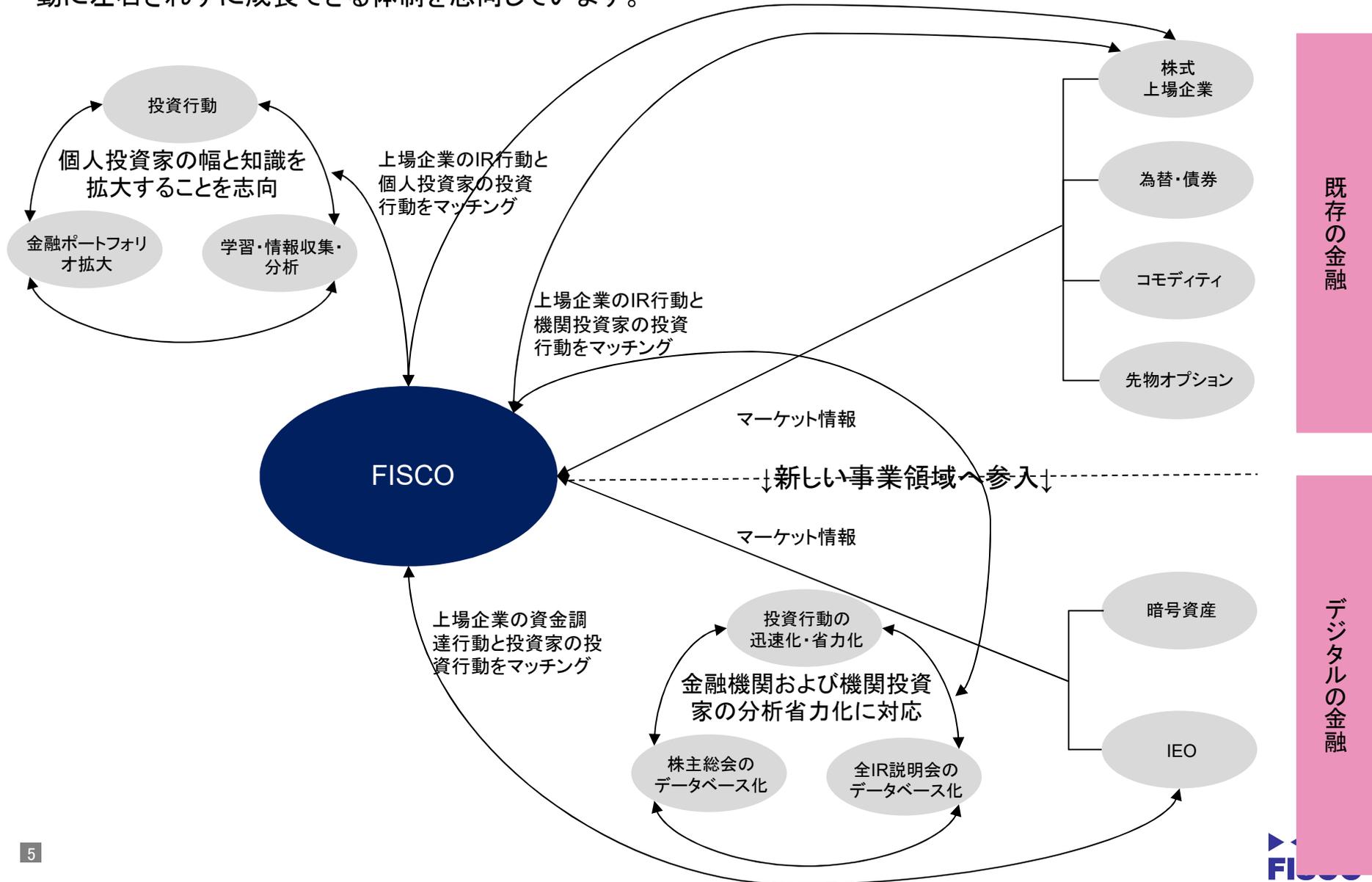
2. 目標の実現に向けた具体的な諸施策

- ① 個人投資家向けコンテンツ拡販の推進、投資教育・金融・経済コンテンツサービス強化
- ② 仮想通貨(暗号資産)の情報配信
- ③ 機関投資家向けコンテンツの新規販売
- ④ スポンサー型アナリストレポート(企業調査レポート)営業推進強化
- ⑤ 広告媒体提案力の強化や制作プロセス改善
- ⑥ アイスタディ社との連携によるオンライン会社説明会等設営事業
- ⑦ アイスタディ社との連携による社外取締役派遣事業
- ⑧ 管理体制のさらなる強化(組織横断的な体制強化を推進)

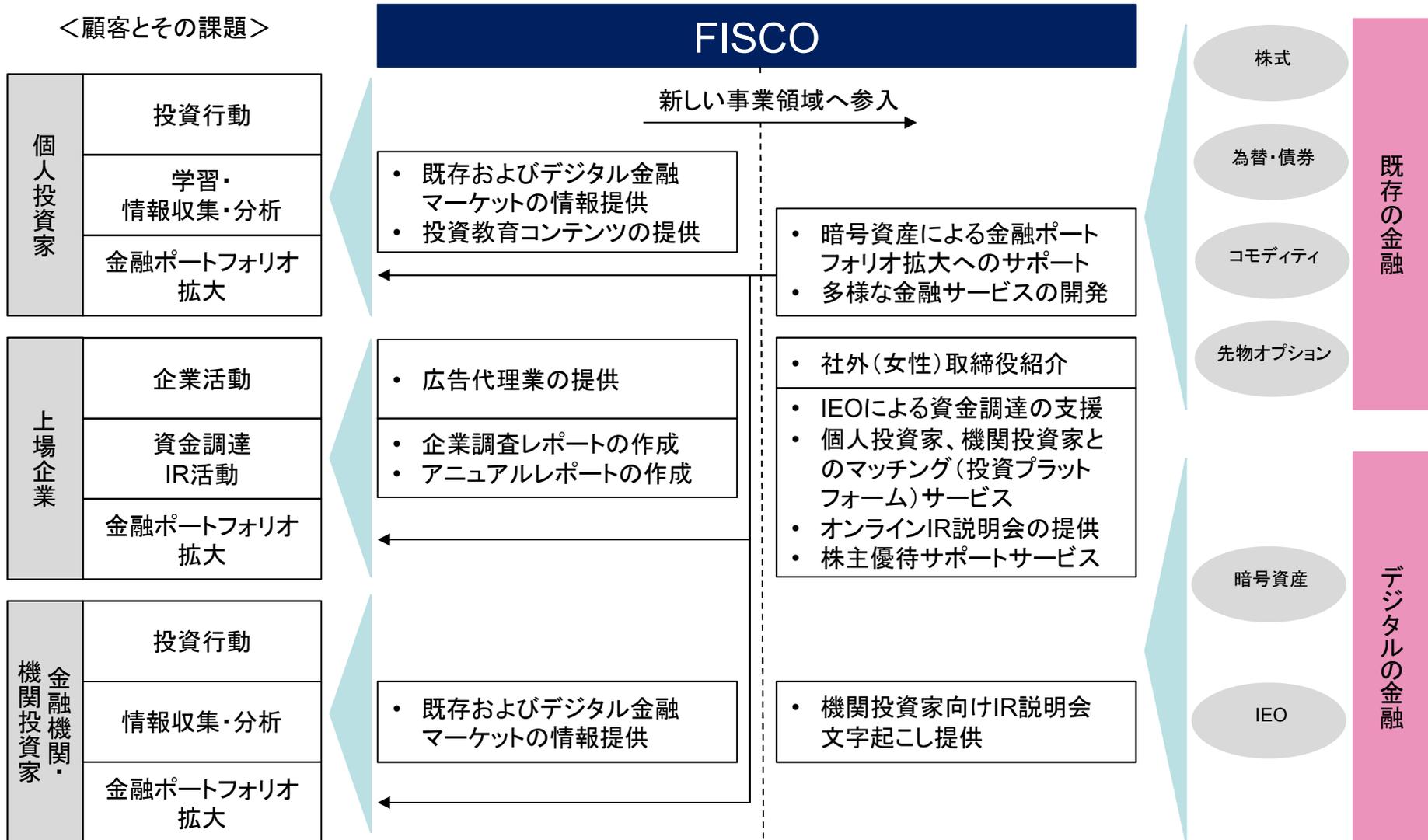
※フィスコ仮想通貨取引所(以下「FCCE」)は、当社持分法適用関連会社のため、業績については営業外損益に計上されます。

2020年2月12日にFCCEが運営する2つの仮想通貨取引所「フィスコ仮想通貨取引所」および「Zaif」を統合し「Zaif Exchange」といたしました。また、2020年3月6日に同取引所にて、新規口座開設受付再開をいたしました。なお、直近の手数料増収などから2020年1~3月期は黒字を見込んでおります。

フィスコは、投資運用の総合情報プロバイダーであり、各プレイヤーを有機的につなげる存在になり、マーケットの変動に左右されずに成長できる体制を志向しています。



既存の金融分野におけるサービス提供を継続しつつ、培ったノウハウを転用し、デジタル金融分野も含めて新規サービスの提供にチャレンジします。



既存の金融、デジタルの金融分野において、個人投資家、金融機関(機関投資家含む)、上場企業、情報提供端末およびサイトなど投資関係分野に幅広いネットワークを有しています。

